



# 人間学塾・中之島

塾 是

- 森 信三先生を始めとした先哲に学ぶ。
- 日常生活の細事を軽んぜず、徳行に努める。
- 心願以て万事の源と為し、世界の手本となる人間塾を創る。

## 第九期 塾生募集 案内

### 開講日・会場・その他行事

- ◆ 毎月第2土曜 ※ 会場・講師の都合により変更があります。

午後1時より午後5時

- ◆ 研修会場 近隣の都市開発により会場変更いたします。

- ①前期 大阪大学中之島センター
- ②後期 大阪国際会議場・ほか

- ◆ 年二回の宿泊研修

令和2年11月(修養団伊勢研修センター)  
令和3年 3月(高野山宿坊・清浄心院)

- ◆ 郊外学習「先哲 ふる里訪問」

令和3年4月～6月予定(日帰り)

- ◆ 塾生講話

塾生による実践講話

<http://www.nnakanosima.org>  
人間学塾・中之島 検索



アクセス  
・京阪中之島線中之島駅⑥番より 徒歩5分 ① 3分  
・JR東西線新福島駅より 徒歩9分 ② 8分  
・地下鉄四つ橋線肥後橋駅④番より 徒歩10分 ② 13分

### 受講費

年間 78,000円 (分割払い可 相談応)

※ 受講費請求は、入塾申込書受付後事務局よりご案内致します。

- ◆ 但し、人間学塾・中之島／旧天分塾卒塾者は、年間 68,000円

◇ 宿泊研修 11月・3月 各一泊二日 (各費用 16,000円程度)

◇ 必要に応じて懇親会開催 (費用 3,000円程度)

### 三大綱領

◆ 念々志学

— 生涯学習を

目指しましょう

◆ 念々心願

— 一歩貢献を

念じましょう

◆ 念々感謝

— 師恩友益に

目覚めましょう

### 「三つの誓い」

一つでいい 一つがいい 小さな一つを やりつづけよう [行持]  
 一つでいい 一つがいい 小さな一つの 願いをもとう [心願]  
 一つでいい 一つがいい 小さな一つの 実を結ぼう [結実]

当塾の前身は「天分塾」にあり、森信三先生の高弟、寺田一清先生のご指導のもと新たに開塾した。源流は江戸期大坂にて幾多の人材を輩出した「適塾」「懷徳堂」「心学講舎」などにもある。

## 年間開講日程

※ 開塾日は、基本第二土曜日ですが、会場・講師のご都合により、変更も有ります。

| 開講日               | 講 師      | テーマ                                  |
|-------------------|----------|--------------------------------------|
| 9月12日             | 入塾歓迎イベント |                                      |
| 10月10日            | 小西 忠 禮   | 「扉を開ける<br>夢は叶う」                      |
| 11月14日            | 高山 良 二   | 「平和の種になりたい<br>～地雷原の村での挑戦～」           |
| 11月15日            | 武田 数 宏   | 「今をいきる!!」                            |
| 12月12日            | 上 甲 晃    | 「命の国づくり<br>— 百年の計」                   |
| 令和3年<br>1月 9日     | 木 南 一 志  | 「100人の一歩の<br>為の一人の100歩」              |
| 2月20日<br>(※ 第三土曜) | 横田 南 嶺   | 「禅の教えに学ぶ」                            |
| 3月13日             | 小 松 遊 平  | 「色即是空花さかそ」                           |
| 3月14日             | 白駒妃登美    | 「弘法大師・空海」                            |
| 4月10日             | 堀内明日香    | 「組織作りと<br>人材育成の本質」                   |
| 5月 8日             | 執行 草 舟   | 「現代と死生観」                             |
| 6月12日             | 大 島 修 治  | 「人生逃げたらあかん」                          |
| 7月10日             | 西 亀 真    | 「乗り越える!!<br>～その時、どう考え、<br>どう乗り越えたか～」 |
| 8月14日             | 卒 塾 式    |                                      |

### 《事務局》

〒648-0094 橋本市三石台4-1-15  
「人間学塾・中之島」 宮本 内  
TEL 0736-38-3669・FAX 0736-38-3680  
P/C M・ﾌﾟﾚｽ mm3724@skyblue.ocn.ne.jp  
090-1671-4725 mm4115@docomo.ne.jp

## 第九期 講師紹介

※ 講師は、都合により講師の推薦する方に変更する場合があります。



こにし ただのり  
小西 忠 禮

1941年 兵庫県生まれ。高校卒業後、神戸オリエンタルホテル入社。1969年日本人として初めて「ホテル・リッツ・パリ」の有給従業員に。その後ヨーロッパの一流レストラン、ホテルでさらに腕を磨き1973年帰国。リー・ガロイヤールホテル大阪を経て、神戸ポートピアホテル総料理長。ホテルオークラ神戸などを経て2002年ホザナ幼稚園副理事長。2004年同理事長就任。著書『扉を開ける』がある。



たかやま りょうじ  
高山 良 二

1947年 愛媛県生まれ。地雷処理専門家。1966年陸上自衛隊に入隊。1992年カンボジアPKOに参加。2002年陸上自衛隊を定年退官と同時に認定NPO法人日本地雷処理を支援する会（JMAS）に参加。1年の大半をカンボジアの地雷原の村で過ごし村人と共に地雷処理をする傍ら、村の自立を目指した地域復興にも奔走している。また東大寺で僧侶「補権律師」の地位を得る。



たけだ かずひろ  
武田 数 宏

1958年 福島県安達郡に生まれ。1980年淑徳大学・社会福祉学部／社会福祉学科卒業。同年、財団法人修養団に勤務。1981年（財）修養団伊勢青少年研修センターにおいて、各講習会・研修会に従事。公益財団法人修養団常務理事、伊勢青少年研修センター所長、関西会館館長、講師。著書『伊勢の杜によこそ』



じょうこう あきら  
上 甲 晃

1941年 大阪市に生まれ。1965年松下電器産業（株）に入社。1981年財団法人松下政経塾に出身。理事・塾頭を歴任。1996年退社し志ネットワーク社を設立。1997年『青年塾』を創設。現在第23期生を迎え、累計約2000名を超える。主な著書『志の持参』『人間として一流をめざす』『志を教える』『志を継ぐ』など著書多数。



きみなみ かずし  
木 南 一 志

1959年 兵庫県生まれ。株式会社新宮運送代表取締役。『S-DEC運動』という、4000日間の無事故無違反を推進する循環型の運動を実施、「事故が起きても仕方がない」という考えを壊し、社員の自発的な努力の必要性を促している。本物と呼ばれるような企業を目指して、柔軟なスタンスで事業を推し進めている。



よこた なんれい  
横田 南 嶺

1964年 和歌山県新宮市生まれ。1983年筑波大学に入学。東京都文京区白山道場龍雲院 小池心豊老師について出家得度。1987年筑波大学卒業、京都建仁寺僧堂、円覚寺僧堂にて修行。円覚寺足立大進老師に嗣法。2010年臨済宗円覚寺派管長に就任。『祈りの延命十句観音経』『二度とない人生だから今日一日は笑顔でいよう』など著書多数。



こまつ ゆうへい  
小 松 遊 平

1952年 岩手県生まれ。戦後間もなく両親が南部煎餅屋を創業した。「永続的道徳性による」との父の考えから道徳教育の麗澤大学に進学したもの退学し挫折の青年期が始まった。親不孝、兄との確執など泥沼状態の中で師を得「天の理、人の道」を教わった40年間だった。現在、株式会社 巖手屋副社長。公益財団法人モラロジー研究所 東日本生涯学習センター長。



しらこま ひ と み  
白駒妃登美

埼玉県生まれ。福岡市在住。幼い頃より歴史や伝記の本を読み、福沢諭吉に憧れ、慶應義塾大学に進学。卒業後、日本航空の国際線CAとして7年半勤務。大病をきっかけに、命と向き合い、歴史上の偉人の生き方を紐解くなかで、天命追求型の生き方にシフトする。2012年、株式会社ことほぎを設立し、日本の歴史は、報恩感謝の歴史であることを伝える講演活動を本格的に開始する。



ほりうち あ す か  
堀内明日香

元宝塚歌劇団 宙組 娘役 華凛もゆる として活躍。現在は、宝塚で得た厳しくかつ貴重な経験を活かし、各地で講演活動を行い、女性のみならず経営者やビジネスマンにも人気がある。JADA（日本能力開発分析）協会認定STB一級コーチ。認定マナー講師。



しぎょう そうしろう  
執行 草 舟

1950年 東京生まれ。立教大学法学部卒。実業家、著述家、歌人。生命の燃焼を軸とした生き方を実践・提唱している生命論研究者。著書に『人生論』『生くる』（講談社刊）人間の老いについて語った共著『耆に学ぶ』（エイチエス刊）（寺田一清名誉顧問他共著）横田南嶺老師と禅と武士道の真髓を語った対談本『風の彼方へ』—禅と武士道の生き方—『現代の考察』（PHP研究所刊）その他著書多数。



おおしま しゅうじ  
大 島 修 治

1948年 福岡県北九州市生まれ。1969年 20歳にて入道出立業を創立。1985年 キャセイ産業株式会社設立。1996年7月会社に押し入った暴漢によるガソリン焼き討ち事件に遭い全身の6割を火傷、危篤状態を乗り越えて、不屈の精神で再起し、生かされていることの使命感に燃えて、人のお役に立つ為の新しい生き方に挑戦している。全国各地で講演活動。著書『人生逃げたらあかん』がある。



にし かめ まこと  
西 亀 真

1957年 広島県三原市生まれ。「幸せの入り口屋」初代当主。「志」講演家。高校卒業後、大阪にある大手百貨店に入社。コンピュータ部門に勤務。1995年、目の難病「網膜色素変性症」を発症。病が進行するに連れ、視力視界が徐々に失われていく恐怖に日々苛まれる。失意のどん底に陥るがその恐怖を独自の思考法で克服し、関西カウンセリングセンターで資格を取得、全国で講演活動を行う。



## 塾生の塾生による塾生のための塾

### 人間学塾・中之島 略称 學塾・中之島

代 表 宮武清寛  
副代表 中川千都子  
総務部長 古田修平  
事務長 宮本真弓

顧 問 清水正博  
顧 問 細川三郎